

研究課題名：下部消化管穿孔症例における手術部位感染リスク因子の検討

所属(診療科)：外科

研究責任者(職名)：松本理沙（医師）

研究期間：2016 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

研究目的と意義：下部消化管穿孔症例に対する手術における手術部位感染（以下、SSI）は高率であるとされています。そのため、遅延一次縫合や二次治癒、予防的局所陰圧閉鎖療法の有用性について検討する報告を目にする機会が近年増加しています。しかしながら、前述の方法による創閉鎖を行った場合は2つの問題点が存在すると考えます。1つは、創部管理における患者さんの身体的、精神的負担です。もう1つは SSI が生じた場合と比較すれば医療費削減となるかもしれませんが、下部消化管穿孔症例全てに前述の方法による創閉鎖を実施した場合、本来一次縫合にて問題なく経過するはずであった患者さんに対しても入院期間延長や医療費増加を強いることになるという点です。下部消化管穿孔症例における SSI リスク因子が統計学的に証明されれば、患者さんのリスク因子有無にて一次縫合を行うべきかどうかを判断することが可能となり、患者さんの身体的精神的負担・医療費負担の軽減、入院期間の短縮につながると考えられます。

研究内容：

- 対象となる患者さん：2016 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日の期間で当院にて下部消化管穿孔に対して手術を行った患者さん
- 利用する情報/資料：BMI、糖尿病既往、免疫抑制剤内服有無、アルブミン値、白血球数、CRP 値、発症からの経過時間、手術時間、術中出血量、腹腔内洗浄量などと SSI 発生有無
- 研究方法：本研究は、横須賀市立うわまち病院外科による単施設での研究です。本研究目的で収集される情報には個人を特定できるような内容は含まれていません。

問い合わせ先：

【研究担当者】

氏名：松本理沙

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）